

令和3年度農作業体験学習実態調査結果

令和4年2月17日

福島県農村振興課

1 調査主旨

県内公立小学校において「田んぼ」や「畑」を活用し、農作業体験を通して農業・環境を学ぶ授業（以下、農作業体験学習）の実施状況を把握する。

2 調査概要

- (1) 照会期間 令和3年11月17日～令和3年12月17日
- (2) 対象校数 409校（令和3年11月1日現在（休校を除く））
- (3) 回答校数 339校 回答率83%（R2 333校 回答率：79%）

※特に表記のない場合、単位は「校」とする。

3 調査結果

<農作業体験学習実施状況>

問1 今年度農作業体験学習を行っていますか。

※回答数 339校

表1 農作業体験学習の実施状況

	地域別							県全体	参考 (R2)
	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき		
はい	71	79	27	36	12	30	41	296	263
いいえ	15	11	0	1	1	0	15	43	70
実施率	83%	88%	100%	97%	92%	100%	73%	87%	79%

回答のあった公立小学校 339校のうち、約9割が農作業体験学習を実施している。

<農作業体験学習実施内容>

問2(1) 農作業体験学習をどのように実施していますか。

※実施校 296 校 (複数回答)

表2 農作業体験学習の実施内容 (まとめ)

農作業体験学習取組校数の内訳	農地利用	農地不利用	(参考) R2	
水稲	田んぼ 114	バケツ・ プランター 133	田んぼ 101	バケツ・ プランター 120
野菜等	畑 213		畑 178	
田や畑を利用した農作業体験学習の取組校数	272 (※重複 55)		242 (※重複 37)	

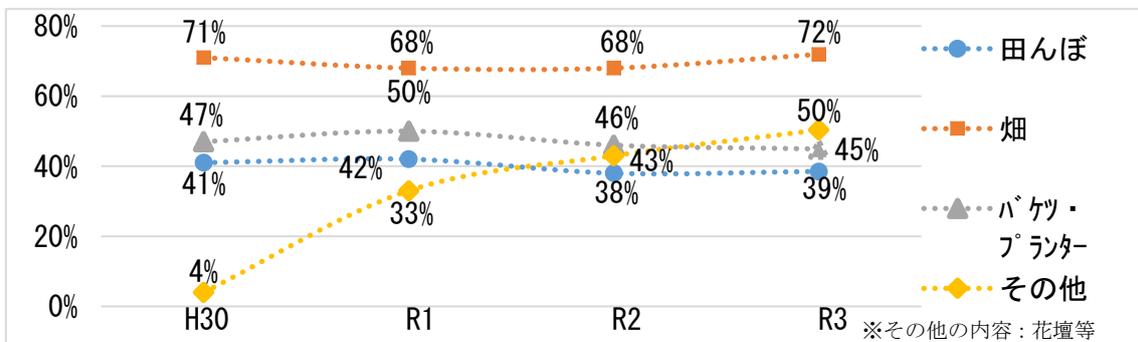


図1 農作業体験学習の内容別実施率の推移

農作業体験学習は、田んぼを利用したものが約4割、畑を利用したものが約7割、バケツ・プランターを利用したものが約5割、特に畑を活用した農作業体験学習が広く実施されている。

＜農作業体験学習の具体的な取組内容＞

問2（2） 具体的にどのような作業をしていますか。

※実施校 296 校（複数回答）

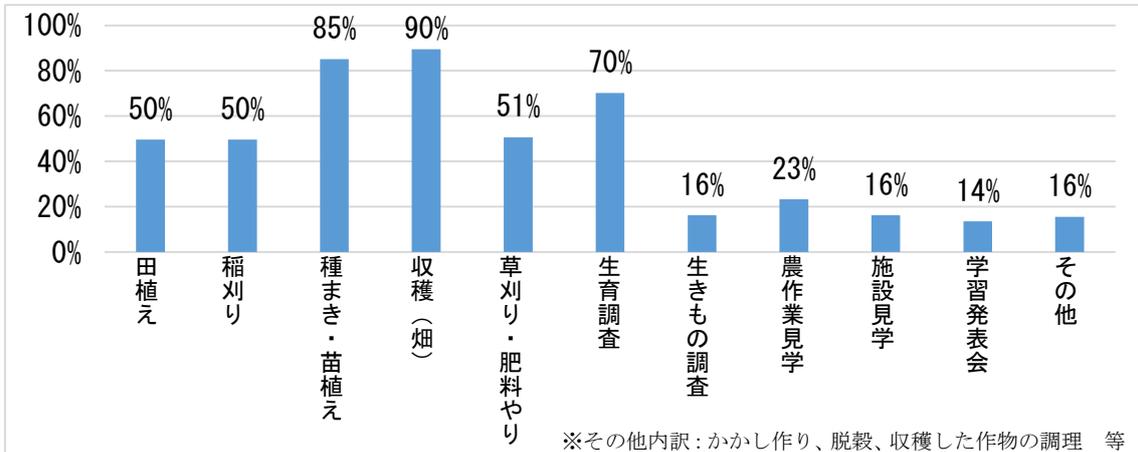


図2 農作業体験学習の具体的な取り組み内容

農作業体験学習の具体的な活動内容としては畑での収穫、種まき・苗植え、生育調査が多く、次いで、草刈り・肥料やり、田植え、稲刈りが多くなっている。

また、生きもの調査や施設見学、学習発表会など、多様な取組が実施されている。

＜農作業体験学習における協力者＞

問2（3） 農作業体験学習を行う際、どのような方に協力してもらっていますか。

※実施校 296 校（複数回答）

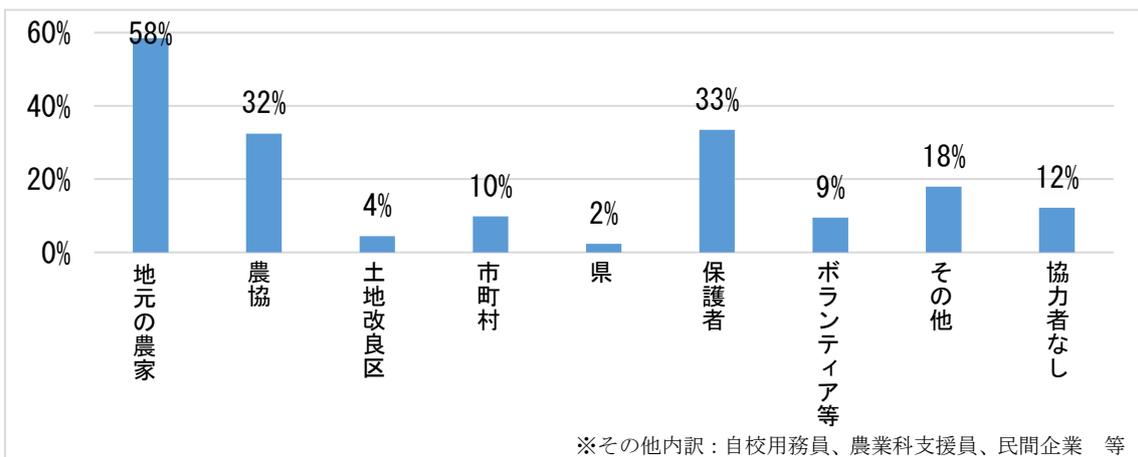


図3 農作業体験学習における協力者

農作業体験学習の実施にあたっては、地元の農家や農協など、農業についての知識や技能を有する方々や、保護者の協力が多くなっている。

<農作業体験学習の継続意向>

問2(4) 今後も農作業体験学習を継続していきたいと思いませんか。

※実施校 296 校

表3 農作業体験学習の継続意向

	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	県全体
はい	70	79	24	36	11	30	41	291
いいえ	1	0	2	0	0	0	0	3
無回答	0	0	1	0	1	0	0	2

農作業体験学習を実施している学校のうち、ほぼ全ての学校で今後も継続したいとの回答が得られた。

<農作業体験学習を実施していない理由>

問3(1) 実施していない理由は何ですか。

※未実施校 43 校 (複数回答)

表4 農作業体験学習を実施していない理由

	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	県全体	参考 (R2)
予算	1	1	1	0	1	0	1	5	7
協力体制	1	3	0	0	1	0	3	8	14
農地	10	8	0	0	1	0	11	30	39
時間	11	7	0	1	1	0	10	30	44
放射線理解	1	2	0	0	0	0	0	3	4
その他	1	0	0	0	0	0	0	1	17

※その他内訳：来年度閉校となるため

農作業体験学習を実施していない理由として、「周辺に適した農地がないため」、「他の教育活動(外国語学習等)により、農作業体験学習に割ける時間がないため」が最も大きな割合を占めている。

4 まとめ

農作業体験学習のうち、田んぼや畑といった農地を利用した活動は、80%（339校中 272校）の公立小学校で実施されている。一方で、農作業体験学習に適した農地や、地域の協力者の確保が困難であることを理由に、農作業体験学習に取り組むことができない学校は13%（339校中 43校）である。

また、福島県に対して、農作業体験学習に関する支援要望がある学校は32%（337校中 109校）であり、最も多かった要望は農業用施設の見学、次いで生きもの調査であった。現在、県では「ふくしまの農育」推進事業を実施しており、県内小学校における農作業体験学習及び生きもの調査の実施に係る支援や、若い世代を対象とした土地改良施設等の現場研修会の開催を行っており、調査結果を参考としながら事業内容の充実を図っていくこととしたい。